

川の生態保全に関する校外研修 ～自然共生研究センター研究者による特別講座～

令和2年8月9日（日）に多治見高校の1,2年生の希望者18名で、土木研究所自然共生研究センターへ訪問し、研究員さんから川の保全活動に関して特別講座を受けました。講座は、魚が多く生息している場所と生息していない場所を目視で予測し、予測を確かめるという内容でした。

初めに自分たちで網を使って魚を採集して、その後に取り逃がした魚をセンターの研究者の方々が電気ショッカー等を使って捕獲しました。今回の特別講座では、網で捕獲しにくい魚種（底生魚）のことが知り、網で取れた魚の数から生息する魚の総数を予測したりすることを学びました。



魚類調査の様子



藪の下には多くの魚が生息すると予測



ウナギも捕獲できました



研究者の方々との集合写真

本活動は、多治見ロータリークラブ、河川基金の支援を受けて実施しました。ご支援ありがとうございます。

担当：佐賀達矢・古田健也